

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）
事後評価結果

1. 補助事業課題名 : 難治性てんかんにおける焦点局在を同定する経皮経血管的脳波測定デバイスの開発
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 松丸 祐司（株式会社 Epsilon Medical）

<評価コメント>

てんかん焦点の局在を同定するための脳波測定を、従来は開頭術による電極留置にて行っているが、カテーテルによる血管内への留置を可能とするとしており、実現すれば大きなメリットに繋がると考えられる。また、当初計画通りの進捗で進められ、医師主導治験まで到達している。

しかしながら、新たな医療技術であり、治験による有用性と安全性確認が十分に行えるまで、標準的な治療とはなりがたく、また専門術者の育成も必要と考えられ、市場の立ち上がりに時間がかかると考える。

以上